

## 事例 4 単元など内容や時間のまとまりを見通した指導の充実を図る事例

○学年 第2学年

○主な領域 (歴史的分野) C近現代の日本と世界 (1)近代の日本と世界

○事例のポイント

- ①単元構造図を基に単元を貫く課題と単元指導計画を設定し、生徒に学習の見通しをもたせるとともに、歴史の大きな流れを捉えさせる。
- ②複数の立場や意見を踏まえて歴史的事象を考え、社会的な見方・考え方を働かせ深い学びを追究する。
- ③歴史的事象と現代の私たちの生活とのつながりに着目し、歴史を学ぶことの意義や価値を感じ、日本や世界をよりよい社会にしていくための態度を育成する。

### 1 単元名 「近代の日本と世界」(28時間)

### 2 単元について(略)

### 3 単元の目標と評価規準

#### (1) 目標

- ・近代の日本と世界の大きな流れを、課題を追究したり解決したりする活動を通して、特に欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめる技術を身に付けるようにする。
- ・工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現するとともに、近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察する。
- ・近代の世界と日本に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

#### (2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。</li> <li>・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。</li> <li>・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(カ)までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>

<p>・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。</p>	<p>・近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
---	---

#### 4 単元の指導計画・評価計画（28 時間）

●「学習改善につなげる評価」 ○「評定に用いる評価」

時	学習活動等	評価の観点			評価規準（評価方法）
		知	思	態	
<p><b>単元を貫く問い</b> なぜ、明治時代に現在の日本につながる近代化がすすめられたのだろうか</p>					
単元の導入	<p>○江戸時代末期から現在までの写真、学区周辺の明治、大正、現在の地形図など諸資料を見比べ、これまでの学習や小学校の学習を踏まえ、単元全体を貫く問いに対して考察し、「振り返りシート」に記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>江戸と現在の様子の比較。</li> <li>地形図から地域の変化を掴む。</li> </ul>			●	<p>●小学校での学習などを基に、単元全体を貫く問いに対する学習の見通しを立て、学習を通して明らかにしようとしている（振り返りシート）</p>
<p>事例のポイント① 生徒の疑問と既習事項を結び付け、単元全体を貫く問いを設定し、これからの学習の見通しをもつ。</p>					
<p><b>小単元1を貫く問い</b> ヨーロッパは世界に先駆けてどのように近代化し、それにより日本はどのような影響を受けたのだろうか</p>					
小単元1	<p><b>小単元1の導入</b></p> <p>○18世紀のヨーロッパと日本の写真を比較し、「ヨーロッパはなぜ世界に先駆けて発展したのか」について、それぞれ考えを述べ学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1800年頃のヨーロッパと日本を比較する。</li> <li>ヨーロッパの近代化が進んだ理由を考察する。</li> </ul>			●	<p>●これまでの学習を踏まえ、小単元1を貫く問いに対して学習の見通しを立て、学習を通して明らかにしようとしている。（振り返りシート）</p>
<p>編P50 指導計画作成の留意事項(1)</p>					
10時間	<p><b>1次の課題</b></p> <p>○「なぜ、ヨーロッパで市民革命が起こったか、革命後ヨーロッパはどう変化したか」について各自資料から読み取り、少人数グループで考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>清教徒革命、名誉革命、フランス革命の背景とその後の変化について資料から読み取る。</li> <li>革命への干渉戦争により、ナポレオンが台頭したことで人権等の考え方がヨーロッパ全土に広まったことを理解する。</li> </ul>			●	<p>●市民革命に対し、複数の資料を基に原因と結果について資料から学習上の課題につながる情報を適切に読み取っている。（情報共有アプリ）</p>
<p>事例のポイント③ 現在と革命前の社会の、人権に対する考え方の違いを捉え、歴史を学ぶ意義を考える。</p>					

2次の課題

- 「産業革命はアジアにどのような影響を及ぼしたのか」について、ヨーロッパ・アジアの二つの側面から資料を活用し考察する。
- ・産業革命により、ヨーロッパ社会はどのように変化したのか、当時の様子を示した資料から読み取り、自分が資本家だったらどのようにして利益を上げるか考察する。
- ・進出した欧米諸国に対して、アジアの人々はどのように対応したのか考察する。

○

○産業革命について、アジア・ヨーロッパの二つの側面からどのような影響があったか考察している。(ワークシート)

事例のポイント②

資本家と労働者、ヨーロッパとアジア等複数の立場に立ち、欧米のアジア進出について多面的・多角的に考察する。

3次の課題 (本時)

- 「江戸幕府の開国により日本はどう変化したのだろうか」について、複数の資料を基に、当時の人々の立場に立って話し合った結果を発表する。
- ・資料を基に開国のメリット、デメリットについて少人数グループで考察し、開国の判断をした背景を考える。
- ・開国により、江戸幕府や民衆がどのような影響を受けたのか、資料を基に考察する。
- ・開国により尊王攘夷運動が激化し、江戸幕府が滅亡した流れを理解する。

●

●開国の影響について、複数の資料から適切に情報を読み取っている。(ワークシート)

○

○開国の影響について複数の立場から多面的・多角的に考察している。(ワークシート)

事例のポイント②

江戸幕府の開国について、複数の立場から考察をし、「なぜ開国の判断をしたか」「開国はどのような影響を及ぼしたか」等社会的な見方・考え方を働かせ、深い学びの充実を図る。

事例のポイント①

小単元1を貫く問いについて考察し新たに抱いた疑問を小単元2へと生かすことで、内容や時間のまとまりを意識し学習をすすめられるよう指導する。

小単元1のまとめ

- 小単元を貫く問い「ヨーロッパは世界に先駆けてどのように近代化し、それにより日本はどのような影響を受けたのだろうか」について、「振り返りシート」を用いて、考察する。

○

○小単元を貫く問いについて考察し、自分の言葉で表現している。(振り返りシート)

編 P 50 指導計画作成の留意事項(1)

小単元1を貫く問いの解 (例)

ヨーロッパでは市民革命が起き、人権思想、議会政治や人民主権など現代にもつながる考えが生まれた。また、イギリスから始まった産業革命により、資本主義が広がり機械や鉄道等近代化が進んだ。その影響を受け、日本も対外政策を転換し開国をした。その結果、外国との貿易が始まり生糸の生産が盛んになるなど、後の明治時代につながる近代化の一步を踏み出すこととなった。一方、開国により物価の上昇や、金の海外流出などの現象も起き、生活に行き詰まった民衆は幕府への不満を高めた。

小単元2を貫く問い 日本の他のアジア諸国に先駆けた近代化はどのように進んだのだろうか

小単元2の導入

○小単元1や小学校の学習内容を振り返り、欧米の進出が早かった清やインドよりも、日本で近代化が先に進んだのはなぜか、考えを述べ学習の見通しをもつ。

1次の課題

○「明治政府が定めた制度は、江戸時代と比べてどのように変化したのだろうか」について、複数の資料を基に考察する。

- ・版籍奉還と廃藩置県により、中央集権国家へと日本が変化したことを理解する。
- ・学制・兵制・税制により国民がどのような影響を受けたか考察する。

○

● ●これまでの学習を踏まえ、小単元2を貫く問いに対して学習の見通しを立て、学習を通して明らかにしようとしている。(振り返りシート)

○明治時代と江戸時代でどのような変化が生じたのか、資料から適切に情報を読み取り理解している。(ワークシート)

小単元2 8時間

2次の課題

○「明治政府はどのようにして近代化を進め、それにより社会はどう変化したのか」について、川越や埼玉県西部の変化について年代別の地図を用い、グループで話し合いをし、考察をする。

- ・殖産興業政策により、社会はどのように変化したか地域教材を基に考察を進める。

○

○明治時代の変化について地域教材など、複数の資料から考察している。

編P50 指導計画作成の留意事項(4)

事例のポイント①

自分の地域の明治時代の写真や地形図から、近代化が進んだことを捉え、歴史と現在のつながりを意識し、歴史を学ぶ意義について考えさせる。

3次の課題

○「日本と外国の関係は明治時代になりどのように変化したか」について、資料を活用し理解する。

- ・岩倉使節団の条約改正交渉について理解する。
- ・清や朝鮮との条約締結や国境の画定について地図を基に理解する。

●

●日本の領土の画定について、江戸時代や現在と比較し理解している。(ワークシート)

編P50 指導計画作成の留意事項(6)

4次の課題

○「日本はどのようにして立憲国家となったのか」について、複数の資料を基に考察をする。

- ・国会の開設をめぐる対立について、複

○

○明治政府の政治について、それぞれの立場の人々がどのように考えていたのか多面的・多角的

<p>数の立場に立ち資料を基に考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大日本帝国憲法や帝国議会の仕組みについて理解する。</li> </ul> <p><b>小单元2のまとめ</b></p> <p>○小单元2を貫く問いに対して、「振り返りシート」を用いて考察をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>事例のポイント① 小单元2を貫く問いについて考察し、小单元3の学習につなげる。</p> </div>	<p style="text-align: center;">編P50 指導計画作成の留意事項(2)</p>	<p>に考察している。</p> <p>●小单元を貫く問いについて考察し、自分の言葉で表現している。(振り返りシート)</p>
<p>小单元2を貫く問いの解(例)</p> <p>明治維新によって、廃藩置県や学制、兵制、税制の改革が行われ近代国家の基礎が整えられた。また、欧米諸国から取り入れた制度や文化の影響で社会の様子や人々の生活も大きく変化した。自由民権運動の広まりにより、我が国はアジアで唯一の立憲国家となり、より近代化が進んだ。</p>		

**小单元3を貫く問い** 日本は近代化を進める中で、なぜ中国やロシアと戦争をすることになったのだろうか

<p>小单元3 8時間</p>	<p><b>小单元3の問い</b></p> <p>○小单元1、2と小学校の学習内容を振り返り、なぜ日本は戦争をしたのか考えを述べ学習の見通しをもつ。</p> <p><b>1次の課題</b></p> <p>○「欧米諸国と対等な関係を築くまでに、どのような努力があったのか」について複数の資料を基に考察をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条約改正交渉について、資料を基に理解する。</li> </ul> <p><b>2次の課題</b></p> <p>○「なぜ日清戦争や日露戦争は始まり、どのような影響を東アジアに与えたのか」について、東アジアとの関係を基に話し合い活動を行い、考察をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日清戦争や日露戦争が始まった原因について、欧米の進出と関連させ理解する。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">●</p> <p style="text-align: center;">●</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p>●これまでの学習を踏まえ、小单元3を貫く問いに対して学習の見通しを立て、学習を通して明らかにしようとしている。(振り返りシート)</p> <p>●欧米諸国の帝国主義の動きを背景に、日本がどのような政策をとったのか理解している。(振り返りシート)</p> <p>○東アジアをめぐる諸国との関係の中で、日清戦争、日露戦争がなぜ起きたのか、どのような影響を及ぼしたのか多面的に考察する。(ワークシート)</p>
---------------------	---	--	---

事例のポイント②  
日本、清、ロシア、朝鮮、イギリス等複数の立場で歴史的な事象を捉え、その内容を対話を通して考察することで深い学びの充実を図る。


単元 の ま と め	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの戦争の講和条約により、日本は どう変化したか理解する。</li> <li>・日清戦争や日露戦争が東アジアや日 本に与えた影響について、各国の視 点から考察する。</li> </ul> <p><b>3次の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「二つの戦争により、日本の近代化は どのように進んだか」について産業 や労働問題、文化について地域教材 など複数の資料を基に考察をする。</li> <li>・産業革命により、日本の社会がどのよ うに変化したか、複数の視点に立ち 考察する。</li> </ul> <p><b>小単元3のまとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小単元3を貫く問いに対して、「振り 返しシート」を用いて考察をする。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の近代化が進んだ ことで、社会がどのよ うに変化したかを理解して いる。(振り返りシート)</li> <li>○小単元3を貫く問いに 対して考察し、自分の言 葉で表現している。(振り 返しシート)</li> </ul>
	<p>事例のポイント① 小単元3を貫く問いについて考察し、 次の単元まとめへの学習につなげる。</p> <p>小単元3を貫く問いの解(例) 明治維新後、日本は国際的な地位の向上を目指し、条約改正を成し遂げた。一方で、欧米列強のアジア進出に 対抗して、日本も朝鮮半島への影響力を行使しようとし、日清戦争・日露戦争へとつながった。戦争の結果、 日本国内の工業も発達しさらに近代化が進んだ。また、日本の列強としての国際的な地位も高まった。</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を貫く問いに対して、近代の日本 を大観して、政治や産業、社会、文化 の変化について考察し、時代の特色 を表現する。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○近代の日本について、 世界の歴史を基にどのよ うな変化が起きたのか、 課題を追究しようとして いる。(振り返りシート)</li> </ul>
<p>事例のポイント① 単元を貫く問いを考察することで、学習の見通しをもつと共 に歴史の大きな流れを捉え、理解を深めることができる。</p> <p>単元を貫く問いの解(例) 欧米諸国が市場や原料を求めてアジアへ進出し、植民地化していく動きが盛んになる中で、ペリーの来航に より開国した日本は、欧米列強と渡り合うため、税制や兵制、憲法の成立等近代国家の仕組みを整え、急速 に近代化を進めた。また、欧米諸国やアジア諸国と条約を結び、密接な関わりを持つようになった。その後、 欧米列強が帝国主義の動きを強める中で、日清・日露戦争を経て列強としての国際的な地位を固めた日本は、 重化学工業に力を入れ、鉄道の整備等さらに近代化を進めることができた。</p>					

5 本時の学習指導（8／28時間）

(1) 目標

- ・開国の影響について、複数の資料から適切に情報を読み取る。
- ・江戸幕府が対外政策を転換して開国したことで、政治的、社会的にどのような影響があったか、多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現する。

(2) 展開

学習活動等	・指導上の留意点	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">観点</div> 具体の評価規準
1 あらためて単元を貫く問いを提示し、開国によって日本がどう変わっていくのか少人数グループで予想する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日米修好通商条約の内容等を参考に、少人数で予想を立てる。</li> <li>・自分の考えがもてない生徒には、小学校での学習内容を想起させる。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         事例のポイント①                          単元を貫く課題を提示し、大きなまとまりを意識させ見通しをもたせる。                     </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>課題</b> 江戸幕府の開国により、日本はどのように変化したのだろうか                     </div>		
3 開国によりどのような影響があったのか、グループの中で、幕府・藩・民衆に分かれて資料を読み取り、読み取った内容を情報共有ツールに書き込む。 <b>【資料例】</b> 幕府・・・一揆の発生件数の推移 藩・・・外国の軍備を導入した藩の様子 民衆・・・物価高騰の風刺画 4 グループ内で、それぞれが読み取った資料に基づき説明する。 5 幕府・藩・民衆という3の立場を踏まえ、開国のメリット・デメリットについて、根拠となる資料を明確にしてグループで考察する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループは、江戸幕府、藩、民衆の3つに設定する。</li> <li>・ICT端末を示しながら、少人数グループで説明を行う。</li> <li>・3、4の活動をもとに開国という歴史的事象を複数の立場から捉えさせることで多面的・多角的な考察につなげる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <b>知・技</b>                          開国の影響について、複数の資料から適切に情報を読み取っている。                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <b>思・判・表</b>                          社会的な見方・考え方を働かせ、開国の影響について多面的・多角的に考察している。                     </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         事例のポイント②                          複数の立場から歴史的事象を捉え、社会的な見方・考え方を働かせ考察する                     </div>		
6 本時の課題について「開国」と「近代化」「人々の生活」を関連させ、まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開国による国の変化には、様々な影響が考えられることから、「開国」「近代化」「人々の生活」という3つのキーワードを提示</li> </ul>	

<p>事例のポイント①③ 単元を貫く問いを意識し、学習の見通しをもたせるとともに、現代の生活との関連を考え学習を振り返り、歴史を学ぶ意義について考える。</p>	<p>し、さらに単元を貫く問いとの関連を意識し考察させる。</p>
<p>7 本時の学習の振り返りを行う。</p>	<p>まとめ（例） 開国の後、産業が発展し、様々な欧米文化が入り日本は近代化が進んだ。一方で、金の流出が進み、物価が上がる等人々の生活は苦しくなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を貫く問いの解決に向け、現時点での到達度を意識させることで、本時の自身の学びを振り返らせるとともに、次時の学習で追究すべきことを意識させる。</li> <li>・本時の導入時とまとめでの自身の考えを比較させ、学習を通した変容を実感させる。</li> </ul>

## 6 板書計画

<p><b>小単元を貫く問い</b> ヨーロッパは世界に先駆けてどのように近代化し、それにより日本はどのような影響を受けたのだろうか</p>	
<p><b>課題</b> 江戸幕府の開国により、日本はどのように変化したのだろうか</p>	
<p>日米修好通商条約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国に領事裁判権を認める。</li> <li>・日本に関税自主権がない。</li> </ul>	<p>メリット <b>近代化が進む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道や憲法などができる。</li> <li>・産業が発達した。</li> </ul> <p>デメリット <b>生活は苦しくなる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物価が上がる。</li> <li>・金の流出が進む。</li> </ul>
	<p>【まとめ】 開国の後、産業が発展し、様々な欧米文化が入り日本は近代化が進んだ。一方で、金の流出が進み、物価が上がる等人々の生活は苦しくなった。</p>

## 7 事例のポイントと考察

### (1) 事例のポイントについて

- ①単元構造図を基に単元を貫く課題と単元指導計画を設定し、生徒に学習の見通しをもたせるとともに、歴史の大きな流れを捉えさせる。

本事例では、単元など内容や時間のまとまりを見通した指導の充実を図るため、中項目の構造図【資料1】を作成し、学習内容と学習過程の構造化に留意した授業を構築した。

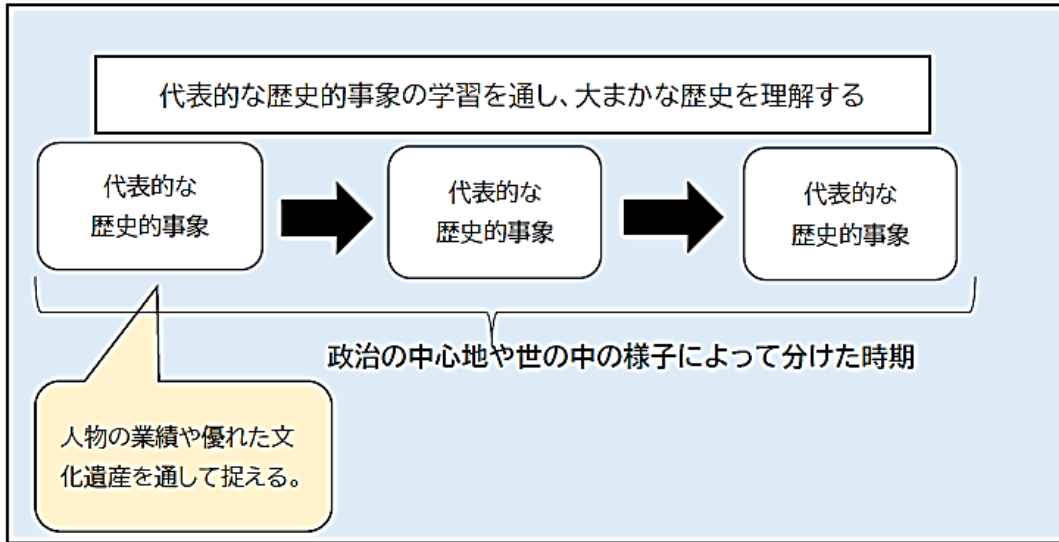
社会科の歴史的分野では、小学校と中学校で扱い方が以下のように異なる。

#### 【小学校学習指導要領】

(2) ア 我が国の歴史の進展に大きな影響を与えた各時期の代表的な歴史上の事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解する。

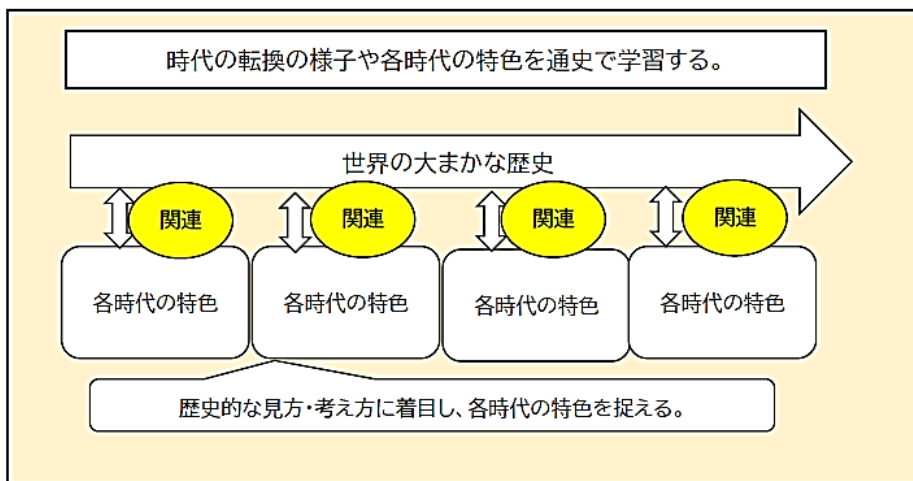
大まかな歴史を理解することとは、政治の中心地や世の中の様子によって分けたいくつかの時期における世の中の動きを人物の業績や優れた文化遺産を通して捉え、我が国が歩んできた歴史を大まかに理解することである。従って、小学校では歴史を通史として事象を網羅的に取り扱うものではないことに留意する必要がある。





【中学校 学習指導要領解説】

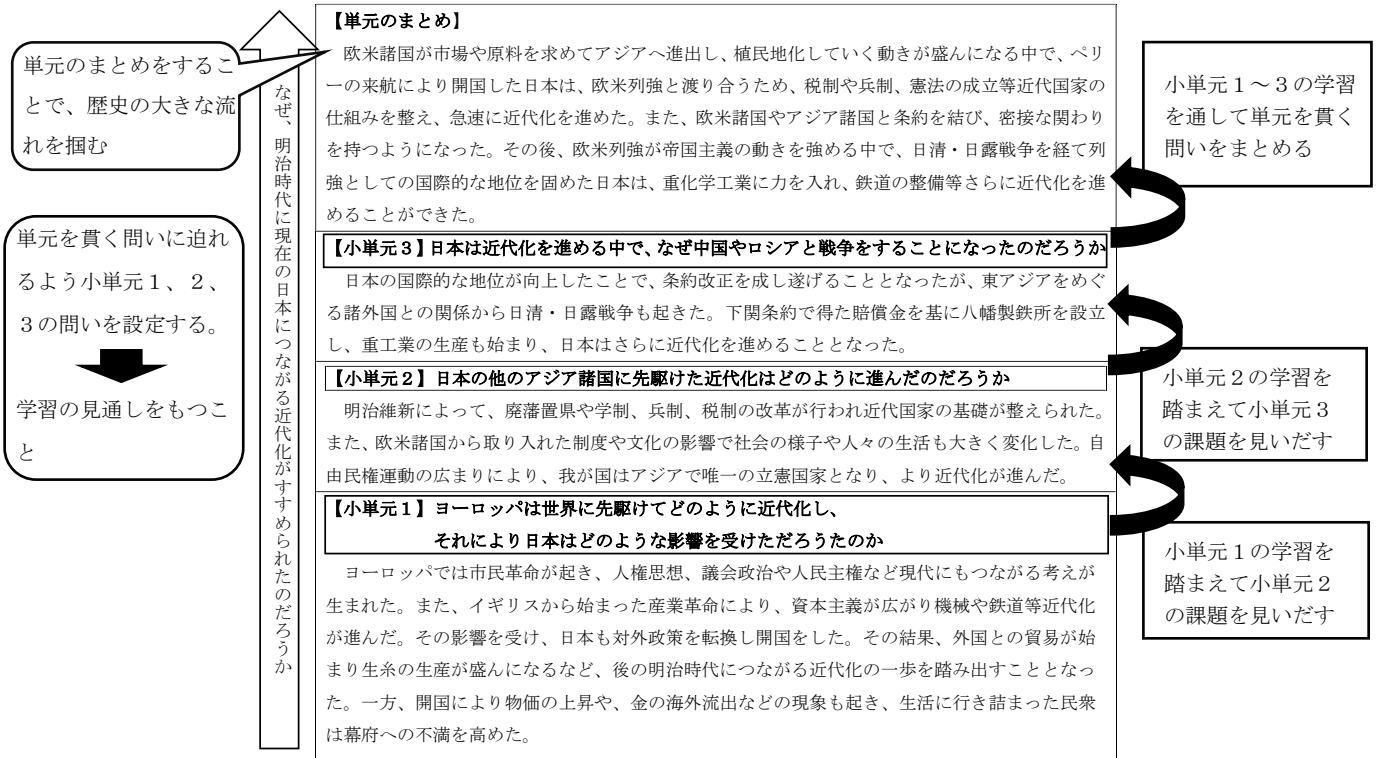
【目標】我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。



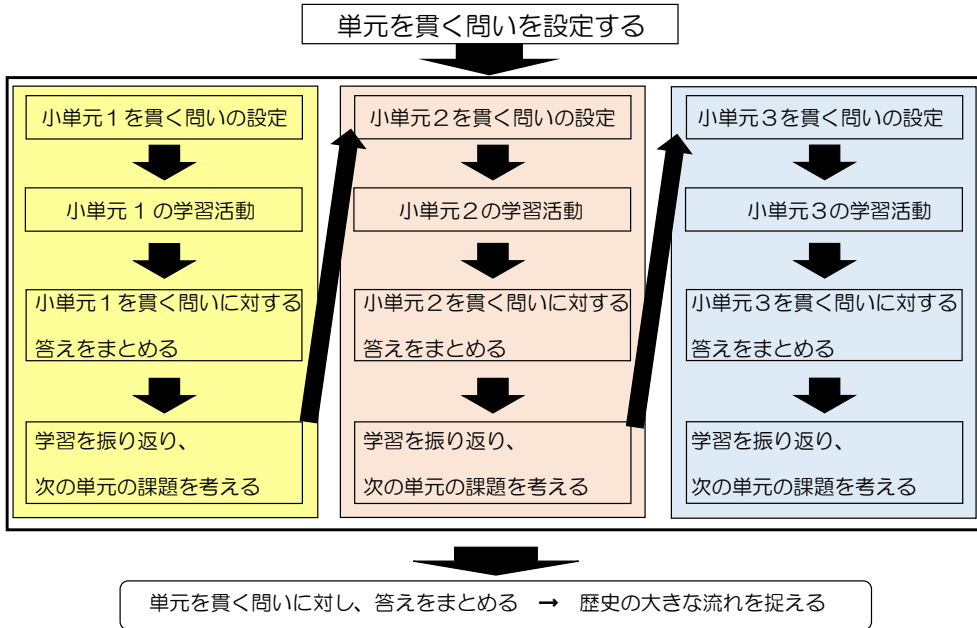
以上から、小学校では「大まかに歴史を理解する」が、中学校では「時代の転換の様子や各時代の特色を通史で学習する」ことに歴史学習の違いがある。そのため、通史で学習する中学校では特に見通しをもって学習する必要がある。本資料の事例3では、歴史的事象が複雑に関連する内容を理解するため、見通しを立て、学習の進め方を振り返り、自己調整を図りながら学びを深める単元計画の工夫を行った。本事例でも、同様に授業を構成することが重要である。

そのため、本事例では単元の目標、評価規準を学習指導要領解説や生徒の実態を踏まえて設定し、【資料2】のように単元を構想した。その際、単元を貫く問いに迫るため、単元を構成する小単元においてもそれぞれ課題とそのまとめを設定した。これにより、生徒が歴史に関わる事象を結び付けながら、それらを概念的な知識として獲得し理解を深めるとともに、学習の過程において「思考力、判断力、表現力等」の育成が図られると考えられる。また、学習の見通しをもちやすくなるため、各小単元や単元のまとめにおいて、自己の学びを確認したり調整したりし、次の学習へのつながりを見いだそうとするなど「主体的に学習に取り組む態度」の育成も図ることができる。

【資料 1】 単元構造図 C(1)近代の日本と世界



【資料 2】



②複数の立場や意見を踏まえて歴史的事象を考えることで、社会的な見方・考え方を働かせ深い学びを追究する。

歴史的分野において養われる思考力、判断力は、歴史的な見方・考え方をを用いて、歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色や事象相互の関連を多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握して、学習したことを基に複数の立場や意見を踏まえて選択・判断できる力と捉えることが学習指導要領解説に示されている。そのため、本事例では歴史的な見方・考え方である「背景、原因、結果、影響など事象相互のつながりに関わる視点」を基に課題を追究した。その際、より深い学びにつなげるために、我が国や外国、幕府や民衆といった複数の立場から歴史的な事象を考察する場面を多く設定した。

生徒の記述内容

新しい技術や文化が入ることで近代化が進み、日本が豊かになったけれど、犯罪や物価の上昇が、起きて当時の人々には大変だったと思う。これは、一面で悪い面があって、その時自分の立場が商人や武士によっても変わると思った。

③歴史的な事象と現代の私たちの生活とのつながりに着目し、歴史を学ぶことの意義や価値を感じ、日本や世界をよりよい社会にしていくための態度を育成する。

本事例では、学習した歴史的な事象を「現在の私たちとの結びつき」や「身近な地域の変化」という視点に着目させて、毎時間振り返りをさせた。このことにより、学習している歴史的な事象と自分たちの生活との関連に気づき、歴史を学ぶことの意義を捉えることができると考えた。

生徒の記述内容（学習の振り返り）

貿易が始まって、その結果物価が上昇したことを学習して、今の日本も江戸やウラシマの戦争の影響を受けているので、いつの時でも外国との関係が大切だと思った。開国のおかげで日本が栄えたと思うと、歴史は色々とつながっている。川越の町が、このころから作られたと思うと、すごいなと思えました。

2 実践にあたっての留意点

歴史の大きな流れを捉えるためには、学習を進めるなかで、状況に応じて単元を貫く問いを意識させることが重要である。単元を貫く問い、小単元を貫く問い、本時の課題を関連付けて意識させることで、歴史の大きな流れを捉えやすくなる。特に、本単元では世界の歴史と日本の歴史との関連を意識しながら学習を進める必要があるため、単元の学習という大きな流れの中に、本時の学習を位置づけるという意識を持つことがより重要である。